

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

曾於市現役 3 人目のプロ野球選手誕生



市長室を訪問された金田和之投手

プロ野球の阪神タイガースに入団した金田和之投手（財部町出身）が、12月27日市長室を訪問され喜びの報告をされました。

金田さんは、財部小学校3年生の頃から野球を始め、財部中学校～都城商業高校～大阪学院大学と進まれ、10月25日のプロ野球ドラフト会議でタイガースに5位指名されました。

今後の目標について「これからが本当のスタート。まずは1軍で1勝することが目標です。将来は藤川球児さんのような選手になりたい」と力強く話されました。

曾於市になって3人目のプロ野球選手。甲子園のマウンドで飛躍する姿が楽しみです。

やる気・元気・おごじょパワー

12月14日、末吉総合センターで「やる気・元気・おごじょパワーイベント 2012」が開催されました。これは、女性グループ「おごじょパワーイベント実行委員会」が毎年開催しているもので、今回で15回目になります。

福岡県男女共同参画センター前館長の中嶋玲子さんによる講演会も開催され、「楽しみながら男女共同参画をしましょう」と力強く話されました。

その後の交流会では、実行委員会による「地産地消」をテーマとした手作りオリジナル料理が振舞われ、集まったお客さんはその味に舌鼓を打っていました。

元気いっぱいのおごじょたちが集い、にぎやかな夜になりました。



おごじょパワーのみなさん
(前列中央 中嶋玲子さん)



「地産地消」のおもてなし

鹿児島ホームページ大賞最優秀賞



授賞式に出席された中迫副会長

曾於市観光協会のホームページ「そおナビ」が、NPO 法人鹿児島インフォメーション主催の第3回鹿児島ホームページ大賞で最優秀賞に選ばれました。授賞式は12月1日に鹿児島アリーナで行われ、代表して中迫勇副会長が出席されました。

観光協会のホームページは、昨年4月にリニューアルし、市内の観光地やイベント、史跡スポットなどタイムリーな情報を発信しています。

受賞された感想を「ホームページを見て、イベントに来られる方も多い。定期的に情報を更新することで、曾於市の魅力を発信していきたい」と述べられました。

青年海外協力隊へ派遣

末吉町諏訪方の平井香織さんが、青年海外協力隊としてマウライ共和国（アフリカ大陸南東部）へ派遣されることになり、12月19日に市長を表敬訪問されました。曾於市からは9年ぶりの派遣です。

平井さんは言語聴覚士として、児童の言語指導と教育者の支援に携わることになります。1月7日に出発し、派遣期間は2年間です。

派遣に際し、「不安はあるが、現地の子どもたちと学びあうことを楽しみにしています」と情熱的に語られました。若い力を発揮し、マウライ共和国の未来のために頑張ってください。



笑顔で話す平井さん

伝統行事の継承を評価



鬼追い保存会 迫杉雄会長

12月12日、鬼追い保存会の迫杉雄会長が市長室を訪し、茗溪賞を受賞したことを報告されました。

茗溪賞とは、一般社団法人茗溪会（筑波大学同窓会）が地域社会で広く社会に貢献している青少年や一般社会人を大賞として、顕彰するものです。

11月26日に東京の茗溪会館で、顕彰式が行われました。鹿児島県内では3団体目となります。

鬼追い保存会は、「招福除災の伝統行事である『鬼追い』を地元の熊野神社の中心として継承している」と、永年の保存・継承活動が評価されての受賞となりました。

サンワ技研立地協定調印



調印式で握手を交す富窪代表（写真左）

12月19日、有限会社サンワ技研（^{とみくぼかずろう}富窪和郎代表取締役）と立地協定調印式がありました。

同社は、平成7年に末吉町で創立されました。

金属部品や精密検査治具など、精度の高い加工技術は取引企業からも高い信頼を得ており、順調に業績をのばしています。

今回の新工場の新設・移転は、普及が進むハイブリッド車の生産増加に伴い、生産体制の充実とさらなる事業拡大を図るものです。

地域経済の活性化や、新たな若い人材の雇用創出に大きく貢献されるものと期待されます。

吹奏楽フェスティバルを開催

12月16日、曾於市吹奏楽連盟主催の「第2回曾於市吹奏楽フェスティバル」が、財部きらめきセンターで開催されました。

このフェスティバルは、市内吹奏楽団体の演奏向上と交流をはかるために行われたものです。

当日は、市内の小中高校8校とメセナ楽団を合わせた9団体が参加。吹奏楽、金管バンド、リコーダー演奏など日頃の練習の成果を披露しました。

講師の長瀬義人先生は「各団体それぞれの持ち味を活かし、いい演奏をしていました。みんなが大人になっても楽器にたずさわって下さい」と講評の中で話されました。



練習の成果を発表

大隅南小学校「かわなべ青の俳句大会」学校賞受賞



市教委に授賞の報告をする大隅南小学校長（中央）

かわなべ青の俳句大会とは、「南九州市川辺町生まれの俳人福永耕二の業績をしのび、これからの次代を担う少年少女が俳句づくりを通じて故郷の四季折々の美しい風情を愛し、日本語のもつ美しさやリズムに対する理解を深める」という趣旨で開催されている大会です。

大隅南小学校は、毎年、全校児童（12人）がこの大会に応募しており、今回は、特選と入選に2人ずつ入賞し、学校賞を受賞しました。

自然豊かな環境の中で、四季の変化を素直に表現する楽しみを味わう大隅南小学校の俳句づくりの活動が、大きな成果となって表れました。

募金活動を実施



12月29日、ボーイスカウト曾於第6団・ガールスカウト鹿児島第6団が歳末助け合い募金活動を行いました。

この募金活動は、昭和44年から毎年行っている奉仕活動で、集めた募金は共同募金会とユニセフに寄付されます。当日はスカウト30人が曾於市内で募金を呼びかけました。

参加したスカウトからは、「寒い中だったけれど、たくさんの人に募金をいただき、とても嬉しかった」と満足した声が聞かれました。

曾於第6団ブログ (<http://scout-bento.at.webry.info>)

そば打ち講習会

曾於市観光特産開発センターと中谷地区むらづくり委員会は12月22日、つなぎなし100パーセントのそば打ち、及び中谷地区のそばを美味しく食べて頂くため、そば打ち講習会を開催しました。

32名が参加し、つなぎなしそば粉100パーセントで、細くて長いそばが出来たことや①イタリア風トマトそば、②ゆずそば、③サラダそばなどの珍しいそばの味に大満足していました。また、持田講師のそば打ちの軽やかな手さばきに見とれていました。

参加者は、講習会で覚えた新たな技術で、美味しい年越しそばを食べられたことでしょう。



講師の実演を必死に見入る参加者

霧島ジオパーク・トレッキング



餌穴の成り立ちを聞く参加者

曾於市観光特産開発センターと曾於市は、霧島ジオパークについて知ってもらおうと、都城市と連携して12月16日、「霧島ジオパーク・トレッキング」を開催しました。総勢60人参加し、大川原峡から関之尾滝までの約12kmを、観光ガイドの案内を聞きながら歩きました。

参加者は、桐原の滝や関之尾滝等の起源、植物の名前等を学び、霧島ジオパークの魅力を満喫したようです。

今後は、「世界ジオパーク」認定に向け、市民の力で霧島ジオパークを盛り上げていきたいですね。